

Rotary



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

RIテーマと地区活動方針



Be a gift to the world

国際ロータリー第2630地区 2015-2016年度 ガバナー 岡田信春

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630



国際ロータリー会長(2015–16年度)

K.R. "ラビ" ラビンドラン(コロンボ)

略歴

- ・ロータリーに入会(1974年)
- ・国際ロータリー理事
- ・国際ロータリー財務長
- ・ロータリー財団管理委員
- ・国際協議会ディスカッションリーダー
- ・地区ガバナー
- ・規定審議会代表議員
- ・ゾーン研究会委員長



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

・スリランカで津波によって破壊された25校を
再建する、ロータリー地区およびクラブの
プロジェクトの委員長として、15,000人の
生徒たちの支援に貢献しました。

-
- ・ロータリー財団功労表彰状受賞
 - ・財団特別功労賞
 - ・ポリオのない世界を目指す奉仕賞受賞



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

テーマ

2015~2016年度 K.R.“ラビ”ラビンドラン会長
「国際ロータリーテーマ」

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう

地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かをもっているはずです。

私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずです。

ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く、本物の何かを残すことができるでしょう。

私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

テーマ

2015~2016年度 岡田 信春ガバナー
「地区活動方針テーマ」

過去、現在・今、行動するロータリアン

会長賞に挑戦しよう

過去

- 今までの輝かしいロータリーの歴史
- 歴史を作った素晴らしい先人達の考え方を継承する

現在

**しかし、時代は、変化し、動いている
その結果、色々な問題が発生！**

今

- 各ロータリークラブも改革し、変化しなければならない
- 具体的な問題を解決する方法>**会長賞に挑戦する**



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

方針 重点目標

1. 会員増強と維持

1. 財団寄付の推進

1. 人道的事業の参加と推進

1. 青少年（新世代）への貢献

1. デジタル化の推進とオンライン
ツールの利用



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

重点目標 1. 会員増強と維持

原因

ロータリークラブ会員の減少
(各ロータリークラブの退会者が多い)

問題

ロータリー退会の理由

- ・会員同士のコミュニケーション不足
- ・世代のギャップ(考え方の違い)
- ・親睦事業の誤解(多すぎる親睦例会)
- ・具体的な指導や研修の難しさ



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

重点目標 1.会員増強と維持

- 例会以外(例会終了後など)で
クラブメンバー同士がコミュニケーションをとる
 - ・趣味を通じての話題や交流
- お互いが、考え方を共有しようとする努力
- 親睦例会は、クラブ事業であるとしっかり認識する
 - ・やたらと多い親睦例会？
- クラブ会員全員が、しっかりと会員増強を認識し実行する
- 新会員推薦者を増やす
 - ・推薦しやすいクラブづくり



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

重点目標 1. 会員増強と維持

→会員純増

会員数49名以下のクラブ少なくとも1名

会員数50名以上のクラブ少なくとも2名純増達成

→女性会員純増

会員数49名以下のクラブ少なくとも1名

会員数50名以上のクラブ少なくとも2名純増達成

→会員維持率の向上

昨年度より少なくとも1%向上達成

→新会員推薦者の増加

新会員を推薦した会員比率を

昨年度より少なくとも1%増を達成

○以上4項目から、3項目を達成する



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

RI会長は、

「会員増強を図る上で、今後も若い世代を重視するとともに、経験豊富な退職者にも入会してもらわなくてはなりません。一つの方法で、世界中の会員問題に対処することはできないという認識に立ち、地域別の会員増強計画を立てたのは適切であると思います。」

各ロータリークラブで原因を探し、今までの考え方を見直し、独自の解決策を立案する。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

重点目標 1. 財団寄付の推進

1. 人道的事業の参加と推進

- RI会長は、
- ・私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。
 - ・苦しんでいる人から目を背けずに、その苦しみを和らげてあげましょう。
 - ・同情の言葉をかけるだけでなく、実際に何かしてあげましょう。
 - ・社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

具体的に 財団寄付の推進

- ・ロータリー財団への支援（20ドル以上）
- ・年次基金への寄付（会員一人平均100ドル）
※日本の目標は、年次基金寄付150ドルです。
- ・自動定期寄付への参加（全会員10%以上）
- ・ベネファクター、遺贈友の会会員、ポール・ハリス
フェローの増加（少なくとも1名増）

人道的事業の参加と推進

- ・地域の奉仕団体と連携、事業の推進
- ・地域社会共同隊（RCC）の提唱
- ・補助金管理セミナーに出席する（少なくとも1名）



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

重点目標 1. デジタル化の推進とオンラインツールの利用

具体的に デジタル化の推進とオンラインツールの利用

- ・社会の変化に伴い、アナログ化からデジタル化へ
迅速なクラブ運営・情報管理の正確性と安定化
 - クラブ会員の理解と努力・事務局の理解
 - ・ウェブサイト、ソーシャルメディアの活用
 - My ROTARY・ロータリーショーケース・
アイデア応援サイト・My ROTARYフォーラム
の積極的な利用
 - ・公共イメージと認知度の向上



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630

最後に

ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く。
本物の何かを残すことができるでしょう。
私たちに与えられた時間は今です。
この機会は二度と訪れるものではありません。

(2015-2016年度 R.I会長挨拶より)



Rotary International

Rotary



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2630



Be a gift to the world

ご静聴有難うございました。